



肌に感じられる風も涼しさから冷たさに変わり、少しずつ冬の訪れを感じる頃となりました。

昼夜の寒暖の差もだんだんと大きくなり、これからの季節空気が乾燥するので、様々な感染症が流行りやすくなります。

新型コロナウイルスだけでなく、ほかの感染症への対策を行いつつ暖かくして冬を元気に迎えましょう。



ヒトメタニューモウイルス感染症



ヒトメタニューモウイルス感染症とは?!

ヒトメタニューモウイルス感染症とは、2001年に発見されたウイルスで、上気道炎・気管支炎・肺炎などの呼吸器感染症を引き起こすウイルスです。また、RSウイルスと類似した症状を起こす特徴があります。初感染は生後6か月ごろから始まり、2歳までに約半数が、遅くとも10歳までにほぼ全員が感染します。一度感染を起こしても、麻疹や水痘のような終生免疫は獲得されません。再感染を繰り返すことで次第に軽症化するとされ、この点でもRSウイルス感染症とよく似ています。

いわゆる「かぜ」の原因のウイルスの一つで、多くは「かぜ」で落ち着きますが、乳児・幼児・高齢者や免疫力が低下している患者さんでは、重症化することがあり、注意を要します。

症状

風邪の症状にとても似ています!

- 咳 (多くの場合、1週間程度続きます。)
- 熱 (多くの場合、4~5日程度続きます。)
- 鼻水

◎悪化すると以下のような症状が出ることもあります。

- ゼイゼイ (ヒューヒュー) という呼吸 (喘息様気管支炎・細気管支炎)
- 呼吸困難など

※発熱や咳が持続する場合は、気管支炎や肺炎の可能性があります。

早目にかかりつけ医を受診しましょう。



治療

特別な治療法はなく、特効薬もありません。基本的にそれぞれの症状に対して行う「対症療法」によって咳止めや解熱剤などで症状を和らげます。後は、ご自宅で水分を十分にとり、保湿をしっかりとって、安静にすることが大切です。

登園の目安

規定の基準はありませんので、解熱し咳や鼻水が改善して元気になれば、登園・登校可能と考えてください。



感染経路・予防



- 飛沫感染 (口や鼻から感染)

↳咳やくしゃみなどで飛び散ったウイルスを浴びたり、吸い込むことで感染します。

- 接触感染 (ウイルスに触れて感染)

↳ウイルスを含んだ飛沫や鼻水などで汚染されたタオルや食器を介して感染します。

※このウイルスにはワクチンがありません。そのため普段から、

うがい・石鹸で手洗い・マスク着用・タオルや食器を共用しないなどの対策が必要です。

9月・10月に病児を利用された
主な症状

- ・ヒトメタニューモウイルス感染症
- ・急性上気道炎・手足口病
- ・RSウイルス感染症



病児を利用された子供さんがよく歌っていた歌ベスト1!

♪おばけなんてないさ♪

ハロウィンということもあり、年齢関係なくどのお子様もノリノリに歌ったり体を揺らしたり楽しそうでした 😊 🎃

